

衣川地区振興会だより

編集・発行:衣川地区振興会 TEL/FAX 52-3426

通巻第107号

令和6年12月26日発行



永生庵の歴史を発信
 相澤さんご夫妻三十年の想い一同に
 「永生庵・相澤征雄の世界」と題した展示会を、11月19日(火)から28日(木)にかけて衣川地区センターで開催しました。
 自然豊かなところで生活したいと、衣川に関わって10年、移住20年のトータル30年の歩みを一挙に展示したものです。30年間の仲間たちの記録写真や機関紙、相澤さんが漉いた和紙によるランプや紙人形、木工、竹細工、獣の爪加工のストラップ作品などのほか、移住に理解を示し、一緒に活動を支えてきた妻・紀子さんの花の写真集なども展示しました。
 相澤先生は山形出身で岩手大学を卒業。東京で小学校教員として勤める傍ら、衣川後山に土地を購入し、以後、永生庵を完成させ、家族とともに移住。この20年間に永生庵を訪れた人は3500人を超えています。
 展示会期間中、おもちゃの遊び方を実演する先生が目玉で、本当に生き生きしていました。永生庵に居る時のように。

開催行事等紹介

【あゆみ園防火パレード】 【筋力フラスワン講座】



●10月31日(木)
あゆみ園園児年少～年長組・職員来所



●10月29日(火) 参加15人
講師/美希病院理学療法士
佐藤紀香さん・高橋澄枝さん

【マールアート講座】



●11月7日(木) 参加11人
講師/マールアートマイスター
加藤真由美さん

【衣川小防災学習】



●11月6日(水)
4年生児童8人・職員2人来所

【軽体操③】



●11月27日(水) 参加7人
講師/フィットネスインストラクター
千葉隆子さん

【紙漉き体験】



●11月23日(土)・24日(日) 参加24人
講師/相澤征雄さん(蛙畑)

【脳元気ゲーム】



●12月13日(金) 参加14人
講師/衣川総合支所保健師
菅原貴子さん・石川志穂さん

お知らせ

●衣川地区振興会長杯
マージャン大会

日時:第6回/2月2日(日)
第7回/3月2日(日)
9時～16時30分(両日)

場所:衣川地区センター

対象:どなたでも

参加費:500円

申込み:1月22日(水)まで

申込先:衣川地区センター

【1月・2月の行事予定】

開催日	内容	開催場所
1/1(水)	元朝マラソン	地区センター
1/8(水)	歴史かるた大会	地区センター
1/20(月)	二十日夜祭	地区センター等
1/22(水)	軽体操教室⑤	地区センター
1/25(土)	イルミネーション点灯最終日 ※1/26(日)撤収作業	古戸交差点
2/2(日)	第6回マージャン大会 ※第7回は3/2開催	地区センター
2/20(木) ～3/3(月)	ひなまつり展示会	地区センター

12月も残すところあと数日となり、今年も講座や行事に加え、ミニ展示会もたくさん開催することができ、衣川に関わる方の活躍を多くの人に知ってもらったことができたと思います。引き続き、地域の皆さんと楽しめる企画をしていきます。来年もよろしく願いいたします。
 (菅原由香里)

高橋努さん法務大臣表彰



長年、保護司として活動を続けていた高橋努さん(懸田・78)が、法務大臣賞を受賞しました。10月31日(木)、盛岡市民文化ホールで開催された「第50回岩手県更生保護研

究大会」の席上、参加者700人が見守る中で表彰状とメダルの伝達・贈呈を受けました。高橋さんは、平成19年からこの任に就き、十数人の対象者に指導・助言を行い、その功績が認められ今回の受賞となりました。



解説をする高橋静枝さん



▲雪の中設置作業(12月8日)



▲点灯式(12月9日)



昭和の 思い出に涙 ～ほのぼの人形展～



衣川地区センターでは2回目となる「おじいちゃん、おばあちゃん、ほのぼの人形展」を12月9日(月)から20日(金)まで開催しました。

高橋静枝さん(懸田)が軍足を使って製作しているもので、背景のジオラマのほとんどは昨年7月に亡くなった夫、敏彦さんの製作によるものです。

この春から人形製作を再開し、新作のジオラマは多くの友人たちが製作を手伝ってくれたもの。会期中、県内外から多くの人たちが訪れ、作品に感動し、涙を流して帰られました。

来年の5月、北上パルで再び展示会が開催されます。どんな新作がお目見えするか今から楽しみです。

冬の夜空にイルミネーション点灯

「古戸農地・水環境保全組合」「古戸営農組合」そして「衣川地区振興会」が一緒になって始めたイルミネーション事業が、今年で9年目になりました。

胆沢の小野寺勇輝さんの設置指導と、佐藤林業(佐藤弘好代表)の菅原広哉さん(深沢)による高所作業車操作によって15メートルもあるドイツトウヒに1万球もの電飾を飾ることが可能となっています。

12月9日(月)からスタートしたイルミネーションの点灯、1月25日(土)までお楽しみください。



(11月10日)防災訓練の様子



AED講習
8月31日(土)参加15人

命第一の地域に

〜厳冬下の被災考えて〜

岩手宮城内陸地震、東日本大震災と、立て続けに大きな被害を受けたことは誰もが知るところです。

道路、橋梁、田畑、そして建物と、その被害規模は甚大なものでした。北股を中心に、避難所生活を余儀なくされ、衣川全域で断水が続くなど、厳しい生活下に置かれてしまいました。「震災はまたやってくる」。肝に銘じておかななくてはならない言葉です。

衣川地区振興会の第一のテーマは「命を守る」です。12月に入り、雪も降り、極端に寒くなってきました。もしこの状況下で大災害が発生したら…。もう一度家族で実際に考えてみて下さい。

「命を守る」ために、家庭でできること、地域でできること、そして、衣川を含む奥州市全体でできることを常に考えて行動に起こしていかなくてはなりません。

非常時用品の確保

衣川地区振興会では、発足した当時から「地域住民の命を守る」を第一に考え、

一時避難所として指定されている衣川地区センターがやるべきことを実践してきました。

「各種非常食」「水」「反射式ストロー」「毛布」「間仕切り」「ベッド」「ガスコンロ」「薪ストロー」「非常用トイレ」等々の購入を優先的に、毎年行っています。

各種防災訓練の実施

各行政区と一体となった「防災訓練」では、防災行政無線操作、安否確認、心肺蘇生法、止血法、煙体験、消火器操作、小型発電機操作等の数々を実施しています。

今年、ポリ袋を使った家庭でできる「ごはん」作りも参加者全員で行いました。

行政区長さんや地域代表、一般希望者による「普通救命講習1」では、3時間にわたって心肺蘇生法、AED操作、止血法、異物除去法を学び、急な事故に遭遇した場合に対応できる人材確保に努めています。

また、小学生を対象とした「公衆電話使用方法指導」を令和4年度から実施。親と離れた休日等に使用できるように、地区センター駐車場に設置されている公衆電話で使い方を指導しています。

その他、「小型無線機交信



▲2008年(平成20年)
岩手・宮城内陸地震を伝える記事

訓練」を7月から3月にかけて、月一で行政区長さんや地区防災部長さんなどを対象に実施しています。

災害に備えて、地区振興会が様々な準備をしています。が、地域の人達を一度に收容し、その対応をするのは100%不可能です。

一時避難所として、できる限りの対策・準備をしています。が、まずはそれぞれの家庭でできることを普段から考えておくことが大切です。



▲防災行政無線放送訓練